

唐津市



議会だより

第40号(平成26年2月1日)



節分の豆まき「鬼は外 福は内」
唐津幼稚園



目次

- ・平成25年度12月補正予算 …… P 2
- ・議案質疑 …… P 3～P 4
- ・審査報告 …… P 5～P 6
- ・一般質問 …… P 7～P14
- ・請願審査 …… P14
- ・平成24年度決算報告 …… P15
- ・意見書(要旨)・編集後記 …… P16

◎ 発行：唐津市議会

◎ 編集：「唐津市議会だより」編集委員会

☎ 72-9162 FAX 75-1515

(〒847-8511 佐賀県唐津市西城内1番1号)

平成25年度 唐津市一般会計予算 12月補正予算 9億5,568万6千円(累計615億4,742万7千円)を可決しました!



その補正の概要は次のとおりです。



【民生費】

- ・ 児童福祉総務事務費 9万5千円
- ・ 総合行政情報システム改修費 (保育料システム)(繰越明許費) 779万6千円



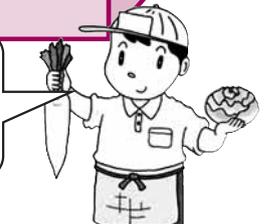
【衛生費】

- ・ 唐津赤十字病院移転事業費補助金 (債務負担行為)
- ・ 地域医療センターエリア用地取得費 (債務負担行為)



繰越明許費とは年度内に完了できない事業を議会の議決を経て、翌年度に繰り越して使用するものです。

債務負担行為とは、次年度以降負担する限度額を決め、事業予算を定めることです。



【農林水産業費】

- ・ 県営土地改良事業負担金 5,096万3千円
- ・ 唐津湾海岸侵食対策調査事業負担金 145万円



【商工費】

- ・ 創業支援事業費 191万7千円
- ・ コスメティック産業推進事業費 164万7千円
- ・ 募集型等宿泊旅行誘致補助金(債務負担行為)
- ・ 西ノ門館曳山修理庫改修費(繰越明許費) 9,754万1千円



【土木費】

- ・ 道路維持改良費(繰越明許費) 1億円
- ・ 道路新設改良費(繰越明許費) 2億6,044万8千円
- ・ 橋りょう長寿命化事業費(繰越明許費) 7,734万円
- ・ 急傾斜地崩壊防止事業費(繰越明許費) 1,012万円
- ・ 県営港湾事業負担金 2,332万6千円
- ・ 県営街路事業負担金 3,840万円



【消防費】

- ・ 消防施設維持補修費 188万1千円

【教育費】

- ・ 図書配送センター事業費 269万2千円
- ・ キャスルベイ唐津ヨット世界選手権開催費 340万円

《特別会計》

【国民健康保険特別会計】

- ・ 国庫支出金等過年度分返還金 1億6,551万3千円

【観光施設特別会計】

- ・ 虹の松原ホテル管理費(繰越明許費) 6,223万4千円



唐津産は新鮮でおいしいね!

【災害復旧費】

- ・ 平成25年災害農地・農業用施設復旧費(繰越明許費) 3億5,602万1千円
- ・ 平成25年災害林業施設復旧費(繰越明許費) 153万3千円
- ・ 平成25年災害水産業施設復旧費(繰越明許費) 1,047万1千円
- ・ 平成25年災害土木施設復旧費(繰越明許費) 9,900万円





議案質疑

提出された35件の議案に対して各会派から14名の議員が質疑を行いました。要約して報告します。

議案第129号 平成25年度一般会計補正予算

1. 唐津赤十字病院移転事業費補助金……債務負担行為(16億8,527万4千円)

質疑 特定財源のうち、地域医療再生基金制度が変更になった内容は。

答 弁 昨年度末に国の補正予算で、地域医療再生臨時特例交付金が追加された際に、事業実施時期等の見直しが行われ、平成25年度末までに実施設計が完了していれば、地域医療再生基金が使えるようになった。

質疑 制度の変更により、事業スケジュールの変更はあるのか。

答 弁 地域医療再生基金のみを財源とする夜間対応薬局は、制度変更により平成25年度以降でも着工できることとなった。

しかし、病院建設は医療施設耐震化基金の実施期限が、今年度末着工となっているため、平成25年度末までに着工し、完成は平成28年5月を見込んでいる。

質疑 唐津赤十字病院用地は今後も無期限、無償貸付するのか。

答 弁 現在は、平成11年4月に30年間の無償貸付の契約をしている。唐津赤十字病院においては周産期医療・小児救急・その他不採算部門を担っているため、今回の移転後も貸付契約を結ぶこととなる。造成中の土地取得についても、合併特例債を活用するため、その土地については無償という条件が付き、現在同様30年間の無償貸付となる見込み。

2. コスメティック産業推進費……164万7千円

質疑 公募される国際ビジネスコーディネーターの業務内容は。

答 弁 JCCの活動内容や会員情報をコスメティックバレーへ発信、コスメティックバレーの情報をJCCへ提供し、フランスのコスメティックバレー会員企業とJCC会員企業とのビジネスマッチングを行う。

質疑 本年度のJCCの事業内容は。

答 弁 4本の主要プロジェクトを考えている。一つ目はビジネス交流で、国際ビジネスコーディネーターを活用したビジネス交流の推進を図る。二つ目は6次化支援で、6次化支援ファンドに関する勉強会、先進地よりの講師招聘。三つ目は研究開発で、原料のデータベースの整理、化粧品メーカーの開発担当者の招聘。最後にコスメタウンまちづくりで、JCCの取組を専用広報誌、インターネット、パンフレットなどで、業界やメディアへ発信する。

3. 西ノ門館曳山修理庫改修費……9,754万1千円

質疑 平成21年度改修した既存施設の建設計画は。

答 弁 曳山修理に伴う曳山への輸送負担を最小限度に抑え、昭和61年度で途絶えた修復技術を再度地元根付かせ、曳山保存等への理解を得ると共に、これらを通じて観光客等の西ノ門館への来場者を増加させることを目的とした改修計画。しかし、既存の文化施設の有効利用といった上での改修で、施設の機能を残すことや、外観を壊さない等の制限があった中での改修であった。

質疑 事業費が今議会に上程された理由は。

答 弁 平成25年度から唐津曳山取締役会や関係部所と何度か協議検討を重ねた結果、現在総修復中の曳山の、平成26年唐津くんちまでの工程を遡ると、来年早々には工事着手しなければならないため。

議案第142号 消費税法等の改正に伴う関係条例の整備に関する条例制定について

- 質 疑 平成26年4月より消費税率が5%から8%へ引き上げられる。その後の施設利用料金の計算方法及びその考え方は。
- 答 弁 原則として消費税率相当額を使用料等に転嫁する。転嫁後の利用料等については、利用者の利便性を考慮して10円未満の端数を切り捨てとする。
- 質 疑 10円未満の端数を切り捨てた場合、収入が減少するのでは。
- 答 弁 一般会計の使用料及び手数料について、平成25年度予算ベースと平成26年度予算要求ベースで大まかな試算をすると、その影響額は約730万円の減収となる。
- 質 疑 指定管理者等が不利益を被らないよう市との協議の場を設けないのか。
- 答 弁 各担当課において個々に対応し、一方的に不利益を受けないよう対応したい。

議案第143号 空き家等の適正管理に関する条例

- 質 疑 条例制定により具体的になにができるのか。
- 答 弁 空き家は個人資産となっているが、立ち入り調査・より詳しい危険度判定・所有者への指導が可能となる。
- 質 疑 平成26年4月1日が施行となっている。規則の整備・周知はどのように行うのか。
- 答 弁 施行日までには庁内連絡会議などを開催し、整備を行う。市報などで周知していく。

議案第144号 国民健康保険税条例の一部を改正する条例

- 質 疑 平成24年度に9.7%値上げ、今回7.3%を値上げしなければならない理由は。
- 答 弁 加入者の高齢化や医療技術の高度化等による医療費増加の反面、被保険者数が減少し、低所得者等が多く、また一部の滞納者がいるため十分な国民健康保険税の確保ができていない。安心して医療を受けられる環境整備のため、健全な財政運営をしなければならない。
- 質 疑 市民への影響は。
- 答 弁 4人世帯（(子供)18歳以下）、312万円の世帯収入で計算すると、年間43万1,900円から46万3,500円となり31,600円（7.3%）の増加となる。

議案第149号 唐津市下水道条例の一部を改正する条例制定について

- 質 疑 使用料改正の経緯は。
- 答 弁 下水道使用料は、概ね5年ごとに改正を行っており、今回は前回の平成21年度の改正から5年が経過するため、見直しを行った結果、改正を行うもの。
- 質 疑 改正の目的について。
- 答 弁 平成26年度からの5年間の中期財政計画により、使用料で賄うべき経費を算出し、不足する費用の一部を使用料の値上によって補い、財政の健全化を図ることを目的としている。
- 質 疑 今後の見通しについて。
- 答 弁 平成27年10月には、消費税率10%への引き上げが予定されている。それとは別に、今回の改正から5年後に次の5年の財政計画を立て、使用料を見直すことにより、下水道事業の継続的な健全運営に努めていきたい。

常任委員会審査報告

議長より付託された案件について常任委員会ごとに審査します。

12月 定例会

総務教育委員会

- ◎消防施設維持補修費
- 質問** 防火水槽移転補償費の算定根拠及び撤去後の対応は。
- 答弁** 山本地区の国道203号道路改良工事に伴い、既存防火水槽を撤去。移転補償費は国の基準で、同等の防火水槽の費用を算出。撤去後は地元協議の上、消火栓及び消火栓ボックス2ヶ所を新設。
- 質問** 消火栓ボックスについて、市設置分と、自治会等設置分とある様だが。
- 答弁** 唐津地区以外においては、合併後も市にて消火栓ボックスの新設・更新を行っている。唐津地区は、合併前より市では設置していない。
- 質問** 今後の消火栓ボックス設置の考え方は。
- 答弁** 市全体で消火栓ボックス設置・維持管理について、備品台帳も含め協議する。
- ◎図書配送センター事業費
- 質問** 旧大成小学校を早稲田佐賀学園へ貸与するのに伴い、図書配送センターを旧打上中学校へ移転する事業だが、平成22年から検討を始めてきている。その内容は。
- 答弁** 十数ヶ所検討してきて適切な場所が見つからず、今回の提案となった。
- 質問** 移転先の改修費用であるが、換気面での対応は。
- 答弁** 換気・空調設備も整い、図書管理の為によりよき空間となる。
- 質問** 旧大成小学校には青少年支援センターもある。この施設は、現在の障害者福祉会館へ移転計画となっているが、耐震等の問題は。
- 答弁** 当面は大丈夫とのこと。
- 質問** 仮の移転地として障害者福祉会館へ移転するようだが、何回も移転することによる弊害は発生しないのか。
- 答弁** 移転の経費は掛かるが、利用しやすい場所ということで選定した。
- 質問** 利用する子供達のリスクが心配だが対応は。
- 答弁** 指導員・相談員は変わらないので、丁寧な指導を行い対応する。砂浜遊びなどの体験学習は出来なくなる。
- 質問** 早稲田佐賀学園運動場整備が最終目的となっているが、市全体の施設配置からの検討が必要では。
- 答弁** 施設の面積、耐震化などの洗い出しについても進めて行く。
- ◎議案第142号消費税法の改正に伴う関係条例の整備に関する条例制定について
- 質問** 利用料で、12時から1時・5時から6時が空白となっているが。
- 答弁** 古い時代から遡らないと解らない。全庁的な会議を開き意思統一をしたい。
- 《現地調査》
- ・山本地区 防火水槽
 - ・図書配送センター
 - ・旧大成小学校
 - ・図書配送センター移転先 (旧打上中学校)

産業経済委員会

- ◎唐津市モーターポート競走事業会計補正予算について
- 質問** 当年度の収益の状況は。
- 答弁** 11月末での収益増が1億7600万円となっている。全体的なことで考えると、今年の収益目標である3億円の剰余金については今の見込みからすれば多分達成できると考えている。
- ◎西ノ門館曳山修理庫改修費
- 質問** 建屋の配置は。
- 答弁** 産業道路沿いに新たな修理庫を建て、今の売店と現在の修理庫の位置を変え、新しく建てた修理庫と入れ替えた修理庫がつながるような形になり、現在曳山の修復をしている部分が売店になる配置。
- 質問** 改修のスケジュールは。
- 答弁** 3月中旬から工事に入り8月末の完成を考えている。
- 質問** 現在修復中の曳山はどうなるのか。
- 答弁** 修復を行いながら、9月に新しい修理庫に移し組み上げる。
- 質問** 修復現場は以前と同じように見学できるのか。
- 答弁** 今と同じように、修復の過程が見られるように考えている。
- 質問** 曳山の修復期間は。
- 答弁** 総修復は、2年に1台で、唐津くんちが終わる11月から9月までの10ヶ月必要。部分修復等だったら1ヶ月から5ヶ月程必要である。
- ◎県営土地改良事業負担金
- 質問** ため池として認められる範囲及び数は。
- 答弁** 農業用施設として貯水して、農業関係に使う農業関係の施設で32ヶ所。
- 《現地調査》
- ・県営ため池等整備箇所 (生駒頭首工)
 - ・国民宿舎虹の松原ホテル (東唐津)
 - ・西ノ門館 (北城内)



西ノ門館

都市整備委員会

◎道路新設改良費について

質問 橋梁長寿命化の取り組み状況について。

答弁 683橋調査した結果補修か架替えか費用対効果分析をして進める。

◎街路事業費について

質問 道路整備と水路整備の完成時期に差が生じ、道路の冠水が心配されるが対策は。

答弁 街路整備と合わせて水路整備も実施されるが、最終工区が完成しないと、効果が発揮できない状況。早期完成を目指して、引続き事業継続をお願いする。

質問 国・県道の整備と市道の整備において、その機能と景観において整合性が取られてないが。

答弁 一部、調整不足が見られた。今後は、県道・国道整備の要望段階から国県道整備促進係を中心に協議・調整しながら進めていく。

◎唐津市下水道条例の一部を改正する条例制定について

質問 使用料見直し案の内容は。

答弁 5年毎に、維持管理費の見直しを立て中長期的な観点から算定・見直し、電気代等ランニングコスト相当分の管理費用を使用料として負担をお願いする。

また、施設・管路建設費用の一部は一般財源で補填する。《現地調査》

- ・急傾斜地（相知町千束）
- ・千束川（相知町千束）
- ・市道七ツ釜線（屋形石）
- ・唐津港（大島町）



千束川

市民厚生委員会

◎唐津赤十字病院移転事業費補助金について

質問 夜間対応薬局の敷地はなぜ有償の貸出しなのか。

答弁 九州厚生局の指導で、医薬分業の原則により病院と薬局が同一敷地の場合は有償の条件が付けられている。

質問 127億円の事業費の内訳は。旧病院のどこを解体するのか。

答弁 本体・外溝・立体駐車場・医療機器と解体費。解体は旧病院の南病棟と管理棟を除いて全て解体する。

質問 新病院ができた時は南病棟と管理棟は市に寄付されるのか。

答弁 今その要望を出しているところだ。

◎空き家等の適正管理に関する条例について

質問 空き家の所有者などで調べてもらえるのか。

答弁 倒壊の恐れのある空き家が約60件存在。台帳化して、まず所有者の意向調査をする。

◎国民健康保険税の一部を改正する条例

質問 国保の構造的な問題もあ

るが、国保税の滞納が年3.3億円もある。徴収率は各地区でばらつきがあり、県内でも低い。対策は。

答弁 制度の周知を徹底しながら、滞納者の調査・予告と差押えもしていく等収納率を上げる努力をしていく。

質問 市民の皆様には赤字の要因を説明してご負担を頂くこと、市の対策も含めよく周知をしてもらいたい。

答弁 市報・ホームページ等で周知する様努めたい。《現地調査》

- ・唐津赤十字病院（ニタ子）
- ・空き家（市内2か所）



唐津赤十字病院

議会を傍聴してみませんか

12月定例会の傍聴者は、本会議 延べ20名でした。
次回の市議会定例会は3月に開かれる予定です。
車椅子専用の傍聴席（2席）も整備されています。

12月議会 市政のここが知りたい

一

般

質

問

12月定例会の一般質問は、12月11日～16日の4日間で行われ、21名の議員が登壇しました。

市民の声を代弁する一般質問の掲載について

一般質問の記事は、決められた文字数のなかで、議員本人が質問・答弁の原稿を提出し、その内容に相違がないときは原則として原文のまま掲載をしています。

質問の文章を多くしたり、答弁を詳しく表現するかは各議員の判断としています。

今回から、一般質問のレイアウトをリニューアルしました。1人当たり11文字57行とし、1ページ3名をそれぞれ枠で囲み、読みやすくしてみました。



榑崎三千夫 (清風会)

質問 国民健康保険税についての種類は、

部長 会社員の協会健保と公務員の共済組合保険などがあり、保険料は事業主と折半。後期高齢者医療保険は個人単位の保険である。

質問 2年前に改正したばかりで、なぜ今回の値上げになったのか。

部長 国保税の滞納と加入者の所得減少。後期高齢者医療保険と介護保険の負担金が予想以上に増えたため。

質問 国保運営協議会での意見と回数は。

部長 協議会は3回開催した。滞納分の解消をすれば引き上げずに済むが、税を上げれば滞納者が増える。滞納者にはペナルティ等の意見が出た。

質問 国保、協会健保、共済保険の保険料は。

部長 平成23年度で妻が専業主婦と18歳未満の子供2人の4人家族で試算すれば所得200万円の

場合、国保が39万3800円、協会健保が17万3316円、共済保険が20万1475円の個人負担となる。

質問 全国の自治体でも保険料に大きな差がある。制度に構造的な問題があるのではないか。

市長 県統一の議論もあり全国的なテーマでもある。現況を踏まえ国県に強く要望をしていきたい。

質問 虹の松原の活用について

部長 松原を4kmにわたって車で通られる所は他にない。観光での売りになるのでは。

部長 玄海国定公園特別名勝の虹ノ松原は観光集客に重要な資源である。

質問 遊歩道を整備すれば観光客の増など多くの利点があると思うが。

部長 法令に基づく手続きが必要になる。



虹ノ松原



平野潤二 (清風会)

今後の唐津市の課題について

質問 合併特例が切れるのちの財政運営は。

部長 都市規模にあった財政運営 経常経費の削減・施策・投資的経費の選択と集中 市債残高の漸減の方針で行く。

質問 新聞報道で特例措置が切れる市町に対して財政支援の報道があるが。

部長 特例が切れる市町に対して支所数に応じた交付税増額のニュースがある。細かな情報はない。

質問 各支所の機能と支所の在り方は。

部長 地域密着の支所にしていく。組織の先導的なモデル組織を今年度中に検討する。

質問 地域審議会は10年間で終了するが、その後の対応は。

市長 市民の意見を聞くことは大事である。他市の状況を参考に唐津市に相応しいものを作る。
質問 市役所建設は賛否両論あるが、市民の安全

安心の砦である市役所が不安定では困る。早急に方向性を出すべきである。
部長 庁舎も建設後52年を経過しており建物の耐用年数、耐力度及び財源を勘案し早急に検討したい。

質問 合併特例が切れるのちの財政運営は。

部長 都市規模にあった財政運営 経常経費の削減・施策・投資的経費の選択と集中 市債残高の漸減の方針で行く。

質問 新聞報道で特例措置が切れる市町に対して財政支援の報道があるが。

部長 特例が切れる市町に対して支所数に応じた交付税増額のニュースがある。細かな情報はない。

質問 各支所の機能と支所の在り方は。

部長 地域密着の支所にしていく。組織の先導的なモデル組織を今年度中に検討する。

質問 地域審議会は10年間で終了するが、その後の対応は。



唐津市地域審議会



宮崎 卓
(清風会)

唐津ポートレース事業の今後の戦略について

質問 収益事業としての役割は。

部長 モーターボート競走法第一条で特に地方財政の改善を図るため行う。

質問 競走事業開設60年間の繰出金の実績は。

部長 繰出金の総額は約682億円になっている。

質問 収益事業収入として市はどのような事業に財源充当をしたのか。

部長 社会資本整備の学校、公民館、道路、水道事業に充当した。

質問 平成16年から繰り出しの実績が無いが今後の見通しは。

部長 事業部では5カ年の収支計画を作成、26年から30年前までの5カ年間で10億円を繰出す予定。

質問 老朽した施設の改修と財源の見通しは。

部長 改修に向けて協議し、費用は30億円を見込んでいます。業界からの支援措置も考えている。

質問 現在の施設のスリム化等の方向性は。

部長 現在協議中で平成25年度中で決定。

質問 収益を生む企業としての体制づくりは。

部長 今年度から企業会計を導入、財務、会計、ネットバンキング等会計事務は完了し、来年度から専任職員の配置等組織の再編が急務。



からつボート



井上 常憲
(清風会)

第1次産業における燃料費高騰対策について

質問 燃料費高騰の第1次産業への国県の施策は。

部長 国と生産者が1対1で資金を出し合い、燃料高騰した時に補てん金を交付する。「燃料価格高騰緊急対策」のセーフティネットが行われている。

質問 J Aからつで653戸が加入して1億833万円が補てんされた。漁業では玄海漁連で34件、小川漁協で33件加入している。

質問 A重油代はハウスミカンで年間反当り約18㎏、180万かかっている。新たな負担を強いるセーフティネットの加入は難しい。市独自の措置はできないか。

部長 来年度に向け検討している。

質問 養殖業は初期投資などが厳しい。沿岸漁業対策では藻場育成、築磯、漁礁設置が効果的かと思うが対策はあるのか。



イカ釣り漁船 (高串漁港)

部長 県が沿岸漁業対策として試験調査を行っているので期待している。観光イベントの推進について

質問 唐の津風景街道推進ビジョンの8の字ルートの整備状況は。

部長 モニターツアー、交流イベント、ワークショップ、情報発信などを行っている。

質問 唐津の最大の観光の売りは人である。人とのふれあいができる企画が必要であると思うが、体験型修学旅行の誘致状況と映画ロケ地誘致の現状は。

部長 昨年度は19校3174名の実績があった。テレビ番組取材とロケは23件あった。映画ロケはなかった。



富田 幸樹
(志政会)

総合計画と予算の関係について

質問 総合計画と予算の関係は。

部長 翌年度以降実施したい新規事業は、9月に政策査定ヒヤリングを受け、その結果、当該事業が期間内に実施すべき事業と判断されれば、新年度予算要求ができる。

質問 西ノ門館曳山修理庫改修費はなぜこの時期補正予算で要求なのか。

市長 今回の改修はイレギュラーといった感はいがめない。議会に対しては説明が遅れたことに対してはお詫びを申し上げたい。塗り替えと同時に軽微な補修修復が必要という事が課題であった。来年度の唐津くんちに向けて考えた時、最終的な判断として今回の補正予算で上程した。

質問 旧大成小学校の活用について

質問 佐賀早稲田学園へ譲渡の計画があるが、現在旧校舎を利用されている団体との移転調整は。

部長 関係各課で調整しているが、現在の障害者福祉会館へ移転で調整している。

質問 移転先の福祉会館は3月の議会答弁では、建築後33年を経過しており今後一時的利用はあるが、民間への払下げ等を含めて検討の答弁であったが、今回移転する団体は一時的な使用となるのか。

部長 一時利用となるのか継続的な利用となるのかは今後担当部署で検討。

質問 利用される団体が施設を転々と変わる事になる。しっかりした計画をお願いしたい。

市長 旧小学校で活動を行っているが、またか、又かとならない様しっかりと進めていく。



西ノ門館曳山修理庫予定地



白水 敬一
(公明党)

道路維持管理予算の確保について

質問 県道・市道・林道の現状と維持管理の予算は。

部長 県道339km、今年度3.8億円、市道142.3km改良率73%舗装率97%で1.8億円、林道315kmで1.8000万円。

質問 各地域から道路維持管理の充実を求める声が多い。状況把握のパトロールの現状は。

部長 3名体制2班でパトロールを実施。小規模な修繕・草刈り・側溝に対処している。林道は実施していない。

質問 現状調査は2班では全く不足。民間のパトロール等を実施すべきでは。

部長 前向きに検討する。**質問** 維持管理の財源は一般財源が主だが、新年度の予算の確保をお願いしたい。

部長 事業費の総額は前年並みの2.5億円確保26年度も平準化枠として1億

円の補正をお願いする。閉校した学校施設の活用について

質問 閉校した小中学校の現状は。

部長 小学校13校、中学校8校で計21校。

質問 利活用の現状は。検討委員会の状況は。

部長 現在活用しているのは4校のみ。その中検討委員会で意見に沿って活用しているのは1校。

質問 利活用については教育委員会だけでは限界。小樽市の事例では企画政策課で方針を決め、私立学校や病院用地等幅広い分野に活用されている。唐津も市長部局ですべき。

市長 現在全施設台帳の整理をしている。企画財政部を中心に企業誘致も含め、幅広い分野の利活用を実施していきたい。



中川 幸次
(公明党)

ICTの利活用によるまちづくりについて

質問 本市が取り組んでいるICT街づくり推進事業とはどういうものか。

部長 高齢者見守りへのICT活用による住みよい街づくりと唐津の観光ブランド情報マップと防災マップを結びつけてウェブサイトの構築などを柱とする実証事業に民間事業者と共同で取組んでいる。

質問 ICTを活用して企業の創業や誘致、また福祉、医療、教育、気象農業等の分野への取組は。

部長 各分野についてもICTを活用した住民サービスの高度化に取組む。ICTコミュニティバスの運行について

質問 コミュニティバスの試験的な運行として、地域を限定したものが行えないか。

部長 地域からの要請があれば、実情の聞き取りや地域の協力体制などを調査の上、必要性を検討。

運行における支障は。

部長 現状のバス路線の全部を残したままでは、相当の赤字が出る。予想されることから、コミュニティの運行については、バス路線の再編などとともに検討すべき。

質問 高齢者の運転免許返納後の公共交通を利用する負担増について、何か検討しているか。

部長 高齢者支援や警察バス事業者等と検討する。

質問 市の交通施策として取組むべきだ。

市長 コミュニティバスについて、地域公共交通会議の課題にする。

熱中症対策について
質問 本年の市の状況は。

部長 緊急搬送74名。**質問** 暑さ対策としてミストシャワーの活用を。

部長 設置を検討する。

健康づくりウォーキング



青木 茂
(志政会)

唐津市の健康づくり推進と佐賀県北部医療圏再生計画について

質問 唐津市の健康づくりの基本となる、第二期健康プランの特徴は。

部長 基本目標の一番目を、生活習慣病の発症予防及び重症化の予防と定め、健康づくりのための環境整備等、具体的に定めた。

質問 推進には、積極的な事業啓発が重要である。その取り組みは。

部長 毎月の健康便りの発行や市報への特集記事の掲載。ホームページや行政放送からの情報提供を行っている。

質問 更なる事業推進には、市民が自ら健康づくりに参加しようとする体制づくり等、よりダイナミックな展開が必要と思うがその考えは。

部長 保険福祉部内としては、保健師の日頃の反省等の会議の中から、その展開を図りたい。

質問 唐津赤十字病院移

転建設には、国・県・市からの一部補助金があてられる。事業費の妥当性のチェック体制は、どの様になっているのか。

部長 国の補助も充てられており、会計検査院の検査対象事業となる。事業費の変更等がある場合は、事前に報告を求めたい。

質問 唐津赤十字病院移転以外の、北部医療圏再生計画の進捗状況は。

部長 小児救急機能移転緊急被ばく医療機関・夜間対応薬局等の整備は、平成28年度中の整備予定。休日歯科センターの整備については、歯科医師会と協議中。災害医療の資機材整備・病院群輪番制病院等の設備整備・緊急医療情報システム整備等は実施済みとなっている。

健康づくりウォーキング





山中真二
(清風会)

公共施設のストックワマネジメントについて

質問 公共施設のストックワマネジメントに対する市の基本的な考え方は。

部長 将来の財政健全化を考え、施設の複合化や解体、民間移譲などでスリム化を進める。

質問 利用できる施設があれば有効に活用し、長期にわたって利用していくことも公共施設のストックワマネジメントの考え方と思うが。

部長 公共施設の多くは地域の拠点となっており、地域活性化の観点からも地元の見解を反映しながら、行政と一体となって進めていく。

「地域の宝」の活用について

質問 観光文化資源だけでなく、地域の住民が守り継ぎ語り継いできた歴史、文化にも目を向け、さらに奥深い唐津の魅力創出につなげていくべきだと考えるが。

部長 斬新な発想のもと、



手足の神様善六様(肥前町赤坂)

その地にしか存在しない唯一無二の素材を加えた、「唐津における新しい旅」を創造していき、これからの観光振興に取り組み

質問 文化的資源やスポーツ環境を生かした観光の効果は。

部長 観客や応援者の動員数の拡大を目指し、スポーツを通じた交流人口と宿泊客数の増加に繋がっていきたい。

質問 地域の宝をどのように活用していくのか。

市長 職員も含め、地域市民の方々と一体となつて、各地域の文化的歴史的资源や自然・景観などの「宝」を磨き、相互につなぎ情報発信し、「唐津風景街道」の取り組みを推進する。



井上祐輔
(日本共産党 唐津市議員)

定住促進について

質問 市民の安心・安全の為に人口の減少、流出を止め県内外の移住者を受け入れることは重要。

部長 観客や応援者の動員数の拡大を目指し、スポーツを通じた交流人口と宿泊客数の増加に繋がっていきたい。

質問 一定の効果はあると考えるが財政の課題、費用対効果を踏まえ今後も検討したい。

質問 統廃合した校舎などの現状は。

部長 地元の跡地検討委員会にて検討され、2〜3年で答申が出る。地元で決まらない場合は、市の遊休地等全体的に勘案し、市長部局において土地の利活用を検討する。

質問 市内の公園でバスケットやスケートボードの出来る公園は。

部長 バスケットは3カ所。スケートボードは子ども利用できる大きさが1カ所。

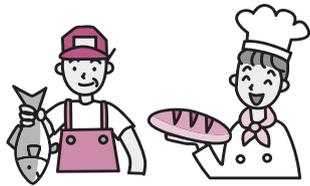
質問 今後の公園整備や

老朽化した施設の更新の考え方は。

部長 市民の多様なニーズを勘案しながら十年間の都市公園寿命化計画を策定している。

質問 この制度は、群馬県高崎市で実施されており、市内の商店を対象に看板の付け替えや屋根の修理、壁の塗り替えなどの改装工事、また椅子やテーブルなど備品購入する際に利用できる制度。

部長 個店のニーズなどを聞いて、市の負担にならない財源などを見極めながら検討する。



田中秀和
(志政会)

唐津市の観光戦略について

質問 唐津市の観光は、地域の宝が多くありすぎて、的を絞った観光PRが必要と思うが現状は。

部長 旅行者ニーズに合わせ、観光素材を選択しながら効果的な情報発信を行っている。

質問 一言にいうと、唐津市の魅力的な観光素材をまんべんなく売り込んでいるという事だが、唐津の知名度アップに繋がるような、唐津を代表する観光素材を絞り込んだ全国展開の取り組みを行うべきではないのか。

部長 関係機関と協議を行い、全国展開を行う観光戦略が必要と思う。

質問 全国展開を図るには、マスコミを活用した首都圏への知名度アップ戦略が必要では。

部長 民の力を活用し、首都圏をターゲットにした視点で全国展開する観光戦略とプロジェクト化の実現を目指したい。



工事が進む鏡山西展望所

質問 ハウステンボスも奇抜なアイデアと首都圏をターゲットとした取り組みで再生を成した。唐津市も観光素材を絞り込んで全国発信を行い「○○の唐津市」とした全国知名度を獲得すべきである。それから観光素材の宝箱を開けて頂けるような戦略を早急に立てる観光戦略策定会議の創設を行うべきではないか。

市長 今までの観光のあり方からご提案いただいたように、唐津市の観光素材を絞り込んだ情報発信を行う事により、唐津市の知名度を全国に広める取り組みが必要で、まさに時期を得ていると思う。唐津市の観光を考えた上でご提案いただいた、唐津観光戦略策定会議(仮称)を立ち上げて早急に検討に入りたい。



山下正雄
(志政会)

観光行政について

質問 唐津観光協会は大組織で事業も多い。運営責任者として専務理事が必要では。

部長 要望された場合、財政支援を含め検討。

質問 平成25年度の緊急雇用での2事業で、プロポーザル発注がされ、観光協会と代理店等を競わせた理由は。観光協会を一事業者として市は見て

いるのか。
部長 企画力や実践力、積極的な創意工夫が求められた。観光協会是一般社団法人になり、随意契約は難しい。

質問 旧中尾家の白壁が、平成24年6月に崩落し、修理を要請したが、平成25年8月の大雨で内部の土壁も崩落した。修復の無作為は組織改編の弊害では。本格的な修理は。

部長 修理の工法を県と検討調整していた。平成26年夏以降になる。
質問 風の見える丘公園の風車も壊れ何年もなる。

部長 県の事業で平成25年26年度にクジラのデザイン風の車が完成する。
質問 旧唐津銀行を改修した目的は。

部長 観光資源として活用し、辰野金吾の生誕地としての唐津を全国にアピールするため。

質問 辰野金吾記念館とし、展示内容も辰野金吾関係をもっと充実すべき。

部長 辰野様式であるが、無理がある。

質問 旧大島邸の復原の目的は。

部長 城内の景観保全を念頭に耐恒寮や大島小太郎を顕彰し、観光の柱とすること。

質問 全国的に発信する

なら、高橋是清を前面に出し、耐恒寮の精神を引き継ぐ人材育成の場所に特化すべきでは。

部長 議論していく。



鯨組主中尾家屋敷



堤 武彦
(清風会)

主要道路整備について

質問 国道204号唐房バイパス整備と湊地区拡

幅工事の進捗状況は。

部長 唐房バイパスで50%。現在、トンネル前後の橋梁工事を進めている。

湊工区では90%で、26年度中の完成を目指す。

施設利用について

質問 市民会館・文化体育館の年間利用実績は。

部長 市民会館は約10万人、文化体育館は文化関係が4万人、スポーツ関係が約9万人で約13万人。

質問 市民会館・文化体育館利用の際、イベントが重なり、駐車場の不足が見られるが対応は。

部長 大規模な大会やイベントが重複する場合は近くの駐車場を確保してシャトルバスを運行する。

一次産業の振興について

質問 TPPの全容は。

部長 TPPは協定参加国の間での経済活動において関税を撤廃し、製品の貿易、衛生植物検疫処置、貿易の技術的障害、

サービス貿易、知的財産等、自由貿易協定等主要な項目をカバーする包括的な協定である。
質問 農家の体質強化が急務とされ、減反政策や交付金が見直されると報道されているが内容は。

部長 来年度から米直接支払交付金が10a、7500円。5年後に廃止。日本型直接支払制度に組替え現行制度を継続し、多面的機能支払に置換る。

質問 グラムへの農水産物輸出の可能性やコスメティック構想での原料供給への取り組みは。

市長 関税・検疫・グアム関係省庁の許認可などが生産者の利益を第一に考え進める。コスメ構想に参加する企業等と協力し、地場産品利用の可能性を探り、品種の選択や栽培技術の指導に取り組む。



唐房交差点



石崎俊治
(志政会)

公共施設等の整備と省エネ化について

質問 合併後に改築、大改造を実施した校数は。

部長 校舎及び体育館の改築が2校、校舎のみの改築が2校の計4校が改築。大規模改築を実施した学校施設は9校。

質問 整備対象外の学校施設の中には、早急に修理や補修の必要な所もある。教育環境の均衡を図るためにも対応を考えるべきでは。

部長 安全安心な学校環境を確保すべき事は充分認識している。必用な修繕、補修については鋭意対応していく。

質問 街路灯等の省エネ化への取り組み状況は。

部長 平成25年4月1日現在で、市が管理している街路灯は9057基。その内、LED化は88基。本年度は、交付金事業を活用し400基程度の取り換えを予定している。

質問 今後省エネ化に向けた事業に取り組んで

いくべきと考えるが。
部長 道路付属設備のランニングコスト削減、又地球環境に配慮したLED化事業の継続を、次年度予算においても行いたい。

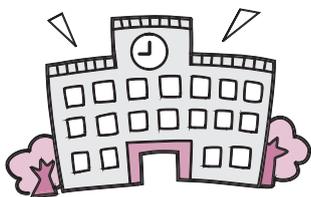
質問 学校施設を含む市の公共施設などの屋上を活用し太陽光パネルの導入を図り、省エネ化の推進に努めるべきでは。

部長 有利な財源等を活用し、施設の新築・改築時に導入を図っていきたい。また既存の施設についても構造調査など設置の可能性について調査検討していく。

＜その他の質問＞

◎文化遺産の活用について

◎社会現象について





宮崎千鶴 (公明党)

虹の松原再生活動の拠点設置について

質問 虹の松原再生活動の基本計画の改訂により、実行計画も改訂されるが変更の内容は。

部長 縁辺ゾーンを広葉樹林にせざるを得ない。理由は薬剤散布ができないため。

質問 将来にわたって再生活動を継続していくには拠点が必要と考える。財源は県が「再生事業」に使っているお金を検討できないか。

部長 活動の拠点が必要という声がある。今後計画の見直しの中で、ボランティアアグループとも協議したい。財源についても、県と協議したい。

雑誌スポンサー制度の導入について

質問 図書館の雑誌コーナーを充実させるとともに、自主財源を図るために雑誌の最新号のカバーに広告を掲載するスポンサー制度を取り入れては、**部長** 導入を検討したい。



近代図書館の雑誌コーナー

緊急用道路の整備について

質問 市内各地に狭歪な道路が多い。救急や火災等の緊急時の対応が心配。道路拡幅の検討は。

部長 市道で幅員2.5m未満の道路が40kmある。狭歪な道路も緊急時の対応は必要。道路の拡幅も住民からの要望に基づき、できるところから検討中。

質問 木造家屋の密集地域に高齢者の単独世帯が多い。地域での避難訓練も積極的にすべきでは。

部長 自主防災組織が整備できていない地域でも取り組みをしたい。

質問 鉄道高架線の側道から元石町への侵入道路を確保できないか。

部長 市道認定も視野に入れながら、今後検討。



井本敏男 (志政会)

コメの農業政策見直しについて

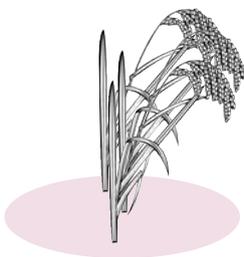
質問 平成24年産米の集荷実績及び販売額は。**部長** 実績は、集荷数量が6358tで販売額は概算で17億4千万円となっている。

質問 市は、コメ政策を抜本的に見直す政府の狙いをどのように捉えているか。

部長 今回の農業政策の見直しは、生産現場の強化、需要と供給をつなぐ仕組みの構造、需要分野の拡大といった3つの産業政策と、地域政策である農産漁村の多面的機能の発揮を柱として、攻めの農林水産業を展開し、創意工夫に富んだ農業経営体の育成、農業・農村の多面的機能の維持・増進、食料自給率の向上と食料安全保障の確立と目指すものである。

質問 経営所得安定対策における米の直接支払交付金の見直しは。**部長** 10aあたり1万5

千円の交付金は、平成26年産米から半額の7500円に大幅削減され、平成29年産まで時限措置として交付される。**質問** WCS用稲の作付状況は。**部長** 平成23年は農家数139戸で面積85ha、24年は農家数150戸で面積101・7ha、25年は農家数143戸で面積104・4haである。**質問** 水田活用の直接支払交付金のうち、飼料用米の作付を推進する方向性であるが、交付単価は。**部長** 見直し後の制度では数量払いが導入され、地域の収穫実績から標準単収を8万円の交付基準とし、実績単収に応じて5万5千円から10万5千円の範囲で変動する。



浦田関夫 (日本共産党 唐津市議員)

玄海原発の事故に備えた市政のあり方について

質問 11月30日に行われた原子力防災訓練を受けて今後にかす課題は。**部長** 今回県外避難をおこなった。離島の方を船で避難訓練したが、海がしけていたり夜間だった場合にどうするのか、老人施設などの受け入れ先選定については県が音頭を取る必要がある。

質問 30キロ圏内に要援護者は何人いるか。**部長** 病床数が2482床。障がい者入居者139人。介護施設入居者1660人。在宅介護者3115人。災害時要援護者支援計画該当者4322人。

質問 道路渋滞マップを県が策定することにしてはどうか。**部長** 秋には出来ると聞いていたが、まだできていない。

質問 要援護者の避難先は決まっているのか。**部長** 医療機関は独自に

計画を立てることになっている。市全体では大変な数になるので、避難先選定については市独自では対応できない。県と協議し県は国と協議中である。**質問** 市民の安全・安心を確保する観点から、今回の訓練を見て十分と判断できるか。**市長** 訓練を積み重ねることが大事。どこまでやれば完璧かはわからない。訓練は充実してきている。**＜その他の質問＞** ◎合併後の行政格差是正について ◎同和施策の今後について



玄海原発防災訓練の様子



江里 孝男
(志政会)

災害に強いまちづくりについて

質問 森林や田、ため池は大雨を一時的に貯留する防災機能を持っているよって森林、田、ため池の整備状況は。

部長 民有林は平成20から24年の4カ年で1400ha実施した。ため池は総数332箇所中143箇所が整備済である。水田は4447ha中遊休水田は159haである。

質問 地すべり・土石流危険箇所・急傾斜危険箇所の整備状況は。

部長 地すべり危険箇所は25箇所あるが23箇所が整備済。土石流危険箇所は25年度で6箇所整備予定。急傾斜危険箇所は5箇所整備中である。

質問 国県市の管理する河川の整備状況は。

部長 改修計画を立て整備をしている。国県河川については整備促進を要望をしていきたい。

質問 住民に対して災害の備えの周知は。

部長 市のホームページや市報で行っている。

質問 災害時における職員への対応について。

部長 対策本部を設置し市民への情報提供や被害状況の把握に努めている。

質問 住民への注意喚起の時期はどうしているか。

部長 過去の災害発生時の雨量など参考にして判断をしている。早期にマニュアルを作成したい。

質問 建設業などの災害協定は。

市長 建設業や食料業者など42事業所と協定を結んでいる。

質問 職員の災害に対する意識の向上対策は。

部長 各種災害に対応した活動による訓練を重ね、職員の防災意識の向上と統一を図って行きたい。



大西 康之
(志政会)

インフラ整備について

質問 道路表層のアスファルトの耐用年数は。

部長 法定耐用年数は10年。中心部の舗装打ち替えは、路面の調査後施行時期の調整を行いたい。

質問 10月半ばに、裁判所前あたりの歩道工事(UD化)をされたが、県との協議内容は。

部長 今回の工事場所は「道路工事唐津地方連絡協議会」後予算が付き施工。把握できなかった。

質問 県の工事でも協議して、唐津らしい仕上を施すべきでは。

部長 唐津市に存在する道路であるので、県と協議の上進めて行きたい。

質問 都市整備部で取まとめ、年次計画の下リニユールを行うべきでは。

部長 各事業者と密接な連携を取りながら進める。唐津ブランド戦略について

協議中。
質問 先日「唐津よかもん振興会」が発足し、シーンを貼ることが出来るが、これと産品ブランドとの関係はどの様に。

部長 商品の販売促進の支援、情報発信等で連携を図り、産品ブランド確立に努めたい。

質問 よかもん振興会をCSOとして市と協働し進める事は出来ないのか。

部長 密に協力したい。ブランド事業にどの様に取り組めるか、今後検討する中で協議したい。

質問 先日、仮称「観光戦略策定会議」を立ち上げる提案がされた。その中でブランド戦略も行えないか。

部長 戦略会議の事務事業がどの様になるのかで、ブランド事業の進め方が変わることもあるのでは。



唐津よかもん アルピノにて



伊藤 一之
(社民党)

公共施設マネジメントについて

質問 「公共施設白書」を作る計画があるのか。

部長 「公共施設白書」の必要性と方策について検討していく。

質問 マネジメントを進めていくためには、組織横断的な専門部署を作らすべきだが。

部長 部内で連携して進めていく。必要となった場合は設置検討も行う。

質問 唐津市の公共施設の問題点と課題は。

部長 老朽化し改修が必要になることや類似施設の保有率が高いという問題がある。施設ごとの方向性を協議し、民間譲渡等のスリム化が必要。

質問 財政の課題と方策は。

高齢者雇用と定員適正化計画について

質問 市職員の高齢者雇用(再任用)の状況は。

部長 無収入期間が発生しないよう、平成26年度からを検討している。

質問 再任用となると定員適正化計画も見直していくのか。

部長 第2次定員適正化計画は本年度中に骨格を決定したい。

質問 現在、計画目標から40名も少ない中で行政サービスを行い、給与カットも続いている。そうした状況を市のトップとしてどう考えるか。

市長 25年度で給与減額は終了。定員については目標を下回らないよう採用調整をする。適正化は過度に人員を削減せず、職員がやりがいのある環境をつくりたい。





志 佐 治 徳
(日本共産党)
唐津市議団

「林業で生活できる唐津市」について

質問 林業を市の基幹産業として名実共に取り組む方針か。

部長 課題を国県と連携しながら進めていきたい。

質問 我が国は森林率が世界トップなのに外材が8割で奇形状態。県は間伐を奨励しているが市有林の実施状況はどうなっているか。

部長 市有林1500haの内、人工林は1100haあり、間伐は10年に1回やっている。

質問 林務課資料ではスギの伐期は樹齢35年、ヒノキ40年とある。40年サイクルだと年30ha施業しなければならぬのに、10年間で21ha。1年分にもならない。

部長 経費が上回るので中々進められない。1haでスギ50年を皆伐しても赤字の試算が出る。

質問 50年林家が育成しても赤字では林家も手がでない。森林の公的機能

は市で567億円となる。機能を維持するためにも適正な管理が必要だ。
部長 機能を維持するための従事者が減ってきている。

質問 1960年木材の輸入自由化で外材が入ってきて価格が低迷し木材自給率も8割台から2割に落ち込んだ。これはT P Pの前倒しではないか。

部長 住宅需要が増え輸入されるようになった。

質問 3年前、「公共建築物は木材で」という法律ができて、市も方針を新たにした。「可能な限り木材化」ではなく、「公民館や学校校舎は木材」とすべきではないか。

部長 市「方針」とおり進めていきたい。
◎**その他の質問**
◎ 厳木高校の今後について



請 願 審 査 報 告

請願第2号

請 願 名	唐津市民の安全が担保されない拙速な玄海原子力発電所3・4号機の再稼動を認めないよう求める請願	不 採 択
請 願 者	玄海原発対策住民会議 代表 藤 浦 皓 ほか1名	

■ 審 査 概 要

唐津市議会においては、玄海原子力発電所が立地する玄海町の隣接市として、安全文化の醸成がいかにも実現されていくのかを絶えず厳重にチェックし、玄海原子力発電所の安全・安心の確保に係る19項目について、慎重に意見を交わしており、市民の不安が払拭され、これ以上ない安全性が確保されることを大前提に、今後の原子力発電のあり方について議論している。

このような中で、今回の請願は、「唐津市民の安全が担保されない拙速な玄海原子力発電所3・4号機の再稼動を認めないよう求める請願」であるが、東京電力福島第一原子力発電所の事故後、国家行政組織法第3条第2項に基づいて設置された原子力規制委員会は、独立性の高い委員会であり、玄海原子力発電所3・4号機の再稼動については、今まさに原子力規制委員会において、適合性の審査中である。

唐津市議会としては、この審査状況を注視し、情報を的確に市民へ伝達するよう求めており、また、昨年10月に唐津市と九州電力株式会社と締結した安全協定に基づき、重要事象についての説明、また、意見の申し出等、市民の安全・安心の確保の構築に努めているところである。

上記理由のもと、今回の請願は不採択となった。

平成24年度決算を認定しました



およそ一人当たり11万円を払って、48万円のサービスを受けたという事になります。

市民負担の状況

単位:万円

区分	決算額	市民1人当り	対前年比
市税	1,204,288	9.29	△ 4,198
分担金及び負担金	92,567	0.72	833
使用料及び賃借料	129,664	1	573
計	1,426,519	11.01	△ 2,792

唐津市の特別会計 決算

単位:万円

国民健康保険	1,734,214
後期高齢者医療	142,299
介護保険	1,148,639
養護老人ホーム	26,888
介護サービス事業	50,880
簡易水道	172,758
下水道	604,036
集落排水	92,411
浄化槽整備	36,178
競艇	4,537,405
観光施設	15,409
有線テレビ事業	38,479
北波多中央部開発事業	250
計	8,599,852

平成24年度唐津市一般会計決算 623億4,004万円

一般会計の内訳

単位:万円

区分	決算額	市民1人当り	対前年比
議会費	40,456	0.31	△ 6,836
総務費	587,808	4.54	△ 123,391
民生費	1,868,379	14.42	25,837
衛生費	604,672	4.67	7,947
労働費	5,437	0.04	262
農林水産業費	401,479	3.10	△ 48,656
商工費	179,886	1.39	△ 60,962
土木費	541,804	4.18	△ 21,566
消防費	209,075	1.61	△ 14,087
教育費	842,994	6.51	176,465
災害復旧費	37,787	0.29	11,423
公債費	914,224	7.06	△ 46,689
計	6,234,004	48.12	△ 100,250

(※端数整理のため表の数値は一致しません。)

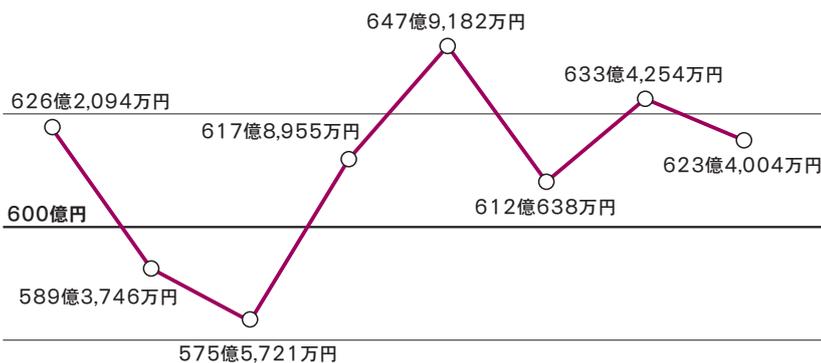
小中学校もデジタル化で、学習が充実しました。



小中学校に電子黒板とデジタル教科書を整備されました。

一般会計の決算額の推移

17年度 18年度 19年度 20年度 21年度 22年度 23年度 24年度



本庁舎西別館を災害時の緊急対策の総合的な拠点として防災センターを整備されました。



意見書(要旨)

市議会では、意見書について権限を持っている行政機関に提出し、解決を求めるために議会としての意思を表明しています。

過疎対策の積極的推進を求める意見書

- 1 地方交付税を充実し過疎地域を有する市町村の財政基盤を強化するとともに、過疎対策事業債の必要額を確保し、道路・橋梁の維持補修などに過疎対策事業債を適用する対象事業の拡大を図ること。
- 2 医療や雇用の確保、交通や教育環境の整備等を広域的な事業による対応を含めて積極的に推進し、住民が安心・安全に暮らせるための生活基盤を確立すること。
- 3 森林の管理、農地の利用、地域資源を活用した観光及び地場産業の振興等過疎地域の環境と特性を活かした産業振興を支援し、新たな雇用を創出すること。
- 4 集落対策、都市との交流、多様な主体の協働による地域社会の活性化と人材の育成・活用等による総合的な集落対策を積極的に推進すること。

佐賀県立厳木高等学校の在り方について慎重な対応を求める意見書

開校以来、地域との結びつきが強い高校としての存在価値を有し、学校林を有するだけでなく、過去には援農や最近では小学校や介護施設とも連携を強め、即社会人として役に立つ人材を輩出するユニークな学校教育がなされている。

こうした中、厳木高校と唐津西高校との統合が報道されている。

よって、厳木高校の在り方については、地域活性化のため地元協議などを含め、慎重な対応を求める。

日本型直接支払い制度の拡充を求める意見書

政府が示したコメの生産調整の見直し案は、農家集落の収入が増えるとしているが、小規模農家や中山間地農家などの所得向上への道筋は明確とは言えず、生産現場の不安は解消しないと考える。

よって、政府においては、小規模農家や中山間地農家などの所得向上のための政策立案すべきである。

確実な賃金引上げを求める意見書

「アベノミクス」による景気回復の兆しから、実感が伴う景気回復を実現するためにも、減税等による業績好転から得た収益を確実に賃金上昇に反映させるための「賃金の配分に関するルール」作りもポイントといえる。

よって、政府におかれては、実効的な賃上げに結び付くような施策を講じるとともに、具体的な道筋を示すことを求める。

介護保険制度における新たな地域支援事業の導入に係る意見書

- 1 新たな地域支援事業の導入に当たっては、市町村の介護予防事業の機能強化の観点から、市町村の現場で適切に事業を実施できるよう手引書の作成、先進的な事例の周知、説明会や研修会を通じた丁寧な説明の実施を行うこと。
- 2 特に、介護給付と合わせて事業実施を行っている事業者などに対して、円滑な事業移行ができるよう適切な取り組みを行うこと。
- 3 新たな地域支援事業の実施に当たっては、住民主体の地域づくりなどの基盤整備が重要であり、こうした市町村における環境整備に合わせて適切な移行期間を設けるとともに、地域のマネジメント力の強化のため必要な人材の確保等に努めること。

意見書の全文及び提出先は、唐津市議会のホームページで確認できます。

編集後記

新しい年を迎えました。

12月議会において財政計画が提出され、総合計画マスタープランが作成中です。

議員として、地域の皆様方の声を反映させるべく唐津の方向性について議論をしていきたいと思えます。

皆様の声をお気軽にお寄せ下さい。

「唐津市議会だより」編集委員会メンバー

- | | |
|-------------|-----------|
| ・委員長 白水 敬一 | ・委員 江里 孝男 |
| ・副委員長 水上 勝義 | ・委員 伊藤 一之 |
| ・編集長 大西 康之 | ・委員 富田 幸樹 |
| ・委員 田中 秀和 | ・委員 吉村慎一郎 |
| ・委員 笹山 茂成 | ・委員 井上 祐輔 |
| ・委員 井上 常憲 | |